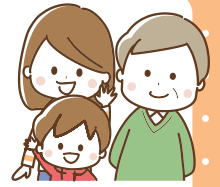




第1回

みんなで知ろう!

認知症



～認知症になっても住みなれたわが家で暮らしていくために～

県では9月21日のアルツハイマーデーを含む、9月18日（日）から24日（土）までの1週間を“認知症を理解し一緒に歩む県民週間”と設定しています。県内の様々な場所で認知症に関する展示などを行っていきますので、ぜひご覧ください。

曽於市は令和4年4月現在で、高齢化率が42.3%となりました。認知症の有病率は85歳で約半数、95歳では約8割の人が認知症にかかっていると考えられています。年齢を重ねれば誰でもかかる可能性がある病気なので、出来るだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう認知症について正しく理解し、地域全体で支え合いましょう。

認知症ってどんな病気??

認知症とは、脳の働きが悪くなることで様々な障害が起こり、生活をする上で支障が出ている状態を指します。



脳の働き

①前頭葉 筋肉を動かす運動野を担う

ココが衰えると…

- ・体の動きが鈍くなり、転倒しやすくなる
- ・歩幅が狭くなる
- ・飲み込みが苦手になる

④頭頂葉 位置や方向などの空間認識を担う

ココが衰えると…

- ・車の運転や車庫入れ、よく道に迷うが下手になる
- ・部屋の整理整頓が苦手だ

⑤側頭葉 主に聴覚を担う

ココが衰えると…

- ・人の話を聞いてもすぐに単語や言葉が理解できない
- ・テレビのニュースやラジオの話の意味が分からないといった悩みが増える

③後頭葉

視覚をつかさどる

ココが衰えると…

- ・最近人や物を見間違える
- ・探し物がなかなか見つからない

⑥海馬

海馬を鍛えて記憶力UP!

主に脳に入ってきた情報を一時的に保存する短期記憶を担う

ココが衰えると…

- ・新しい事が覚えられない
- ・置き忘れやしまい忘れが多くなる
- ・鍋を焦がしたり風呂を沸かし過ぎたりする

②前頭前野 意思決定・思考・判断・計画などの脳の多彩な機能を統合する脳の司令塔。

ココが衰えると…

- ・気が短くなってささいなことでイライラするようになった
- ・人の話を冷静にきけなくなった
- ・つい暴言を吐いてしまう
- ・計画を立てることが苦手になり、「スーパーで買うものがなかなか決まらない」といった悩みが現れることも…

【認知症のタイプ】

アルツハイマー型認知症 脳全体や海馬を中心に神経細胞のネットワークが壊れると発症します。比較的早い段階から記憶障害・見当識障害のほか不安・うつ・妄想が出やすくなります。

レビー小体型認知症 パーキンソン症状や幻視をとめない症状の変動が大きいのが特徴です。

前頭側頭型認知症 司令塔役の「前頭前野」を中心に損傷されるため、我慢や思いやりなどの社会性を失い「わが道を行く」行動をとる特徴があります。

脳血管性認知症 脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなりその部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れて意欲低下したり、複雑な作業が出来なくなります。

次回からは、認知症に関する様々な情報を掲載します。

ご相談などがあれば曽於市地域包括支援センターや介護福祉課までご連絡ください。

お問い合わせ 介護福祉課 地域支援係 ☎ 0986-76-8807